

一般財団法人 日本心理研修センター主催

＜ニーズに沿った心理支援を考える：諸領域における心理支援の知識と課題＞

東京開催
秋季研修会

ウェクスラー検査の最新動向と臨床的解釈の実際

【開催日】平成26年11月2日（日）

【時間】9:30～16:30（9:00開場予定）

【会場】エムワイ貸会議室 TDビル 3階

東京都新宿区高田馬場1丁目29-9

JR 山手線・西武新宿線「高田馬場駅」 戸山口徒歩2分

東京メトロ東西線「高田馬場駅」 5番出口徒歩5分

【定員】150名

【参加費】7,000円

【参加資格】臨床心理士、臨床発達心理士、学校心理士、
特別支援教育士、他の心理系学会資格者、心理職実務者、
守秘義務のある専門職、心理学関連大学院生

【申し込み予約】

一般財団法人日本心理研修センターホームページより
お申込みください（<http://shinri-kenshu.jp/>）

【共催】一般社団法人日本臨床心理士会、日本臨床発達心理士会、日本学校心理士会、
一般財団法人特別支援教育士資格認定協会

【後援】日本行動療法学会、日本発達心理学会、日本人間性心理学会、
一般社団法人日本心理臨床学会、一般社団法人東京臨床心理士会、
一般社団法人日本発達障害ネットワーク（予定）

＜会場地図＞



＜企画主旨＞

知能・認知検査は人間理解の指標として新しい局面を迎えている。ウェクスラー検査（各種検査を総称し、ウェクスラーファミリーとも呼ばれる）は幼児から成人（高齢者まで）をフルレンジで把握するさまざまなツールで構成されている。これまで日本版を開発してきた中心メンバーによって、これらウェクスラーファミリーに関する最新の動向と課題、わが国において心理専門家に求められている最新情報をお伝えし、共にこれからの課題について考えてみたい。

＜プログラム＞

- 9:30～12:00 「ウェクスラー検査の歴史と動向」
石隈 利紀（筑波大学大学院人間科学総合研究科）
- 12:00～13:00 （昼休み）
- 13:00～14:30 「日本版 WISC-IV による臨床的解釈」
松田 修（東京学芸大学総合教育科学系教育心理学講座臨床心理学分野）
- 14:30～16:00 「日本版 WAIS-IV の動向と課題（ICF・短縮版を含む）」
上野 一彦（日本 LD 学会理事長）
- 16:00～16:30 「まとめと Q&A」
松田・上野（前掲）

（本プログラムは予告なく変更される場合があります。最新のプログラムは当財団ホームページをご覧ください）